

あべともこニュース

道義ある政治を。
命と暮らしを守れ！

◆主権侵害のベネズエラ攻撃

年明け早々の1月2日深夜から翌3日未明、米国トランプ大統領によるベネズエラ急襲と、ニコラス・マドゥロ大統領夫妻の拘束、米国での勾留が報じられました。

マドゥロ大統領の独裁政治がベネズエラ社会を崩壊させ、麻薬取引などで米国にも害が及んでいる、としての攻撃と拉致ですが、国際法に照らしてもベネズエラの主権を侵害し武力行使した事は許されません。また11日にはシリアのイスラム国（IS）の拠点を大規模空爆し、更には今後中南米ではコロンビアやキューバ、また中東ではイランへの武力攻撃などの可能性が言われています。

そもその主権国家を否定し、自分に敵対する勢力に対しては公然と武力行使する今の米国は、戦争を違法化した第一次大戦後のパリ不戦条約や第二次大戦後の国連憲章にも反しています。日本政府は、法と道義に則って毅然として、抗議すべきです。

◆進む円安、物価高、食料品高

昨年末の補正予算で、ガソリンの暫定税率が廃止され、またガス、水道、電気代への補助や自治体によってはお米券が発行されましたが、暮らしは一向楽にならず、年越しの買い物にも驚く程の速さで財布の中身がなくなってきました。勿論実質賃金は上がらず、年金も増えていないので、生活はますます圧迫されていきます。

そもそも補正予算でも、また今年度予算でも赤字国債頼み、円安は進む一方で物価高、とりわけ食料品高。主食である「米よこせ運動」が起きてもおかしくないほど…。

今年度予算もまた軍事費拡充のための赤字国債頼みの大型予算では、実は暮らしては楽になりません。輸入に頼らない食料やエネルギーの確保が第一。加えて、医療や環境関連産業への予算の拡充は、国を興します。今こそアベノミクスをきちんと総括した予算審議をすべきです。

◆ガザの人道支援強化の為に

6日から10日、二泊四日で中東ヨルダンを訪問、難民キャンプや医療機関を視察しました。またイスラエル、パレスチナ和平や人道支援に関わる方々との意見交換も行いました。

昨年3月に訪問したエジプトと並んで、多くのパレスチナ難民を受け入れて来たヨルダンには、既に1967年から難民キャンプが設けられ、UNRWA（国連パレスチナ難民救済事業機関）には、1953年から医療、教育、福祉、就労などをサポートして来た歴史があります。

加えてこの二年余りのハマスとイスラエルの戦闘で、多くの死者や傷病者が発生しており、国際NGO「国境なき医師団」運営の病院やヨルダンの軍病院は極めて重要な役割を担っています。イスラエルとパレスチナの和解にはまだまだ高い壁があることも、ヨルダンで会った有識者の共通見解でした。その間もパレスチナの人々の生命と尊厳の為の支援を、今後とも人道外交議論としてしっかりとバツクアップしていきたいと思えます。



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
当選9回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子ども
クリニック（湘南台）理事長
現在、外務委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

